

小学生
対象

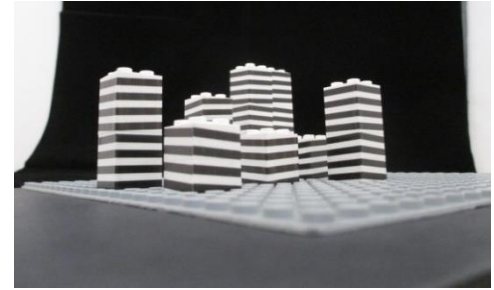
船橋市民ギャラリー夏休み企画
アーティストとこどもたちアート体験プロジェクト

8/
23
(Fri)

錯視ブロックワークショップ ～錯視ブロックで不思議なまちをつくろう～

ブロック型玩具の表面に錯視（目の錯覚）を生じさせるパターンを貼り付け、その模様の組み合わせ方で目の錯覚をつくることのできる「錯視ブロック」を使い立体を組み立てます。今回は、船橋や東京駅などの地図の上に、錯視ブロックで建物や家を作り、参加者みんなで不思議な街を作り上げます。

見る角度によって、目に映る模様の組み合わせと共に、錯覚の強さが変わります。最後に、紙の上に描いただまし絵のような不思議な街を撮影して写真で表現してみましょう。



視覚のトリックを
体験しよう！

講師：錯視ブロックプロジェクト

日時：8月23日（金） 13:00～16:00

会場：船橋市民ギャラリー

（船橋市本町 2-1-1 スクエア 21 ビル 3 階）

対象：小学生

参加費：300円

事前申し込み制。先着20名

持ち物：カメラ・スマホ等（もしあれば）

成果報告展

制作した作品を市民ギャラリーで
展示します。

日時：8月26日（月）

8月27日（火）

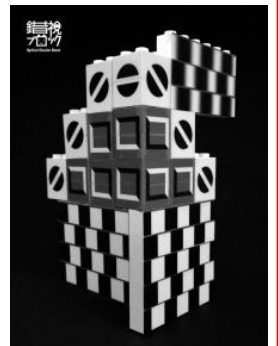
10:00～17:00

会場：第1ホール

入場無料

□ 講師プロフィール 錯視ブロックプロジェクト

大谷 智子(東京藝術大学芸術情報センター 助教)と 丸谷 和史(NTT コミュニケーション科学基礎研究所 主任研究員)らを中心とした、多分野の研究者やデザイナーらによる、錯覚世界を楽しむための研究活動である。このプロジェクトでの活動は、「子供たちの創造性と未来を拓くデザイン」として、第11回キッズデザイン賞 経済産業大臣賞を受賞している。



申し込み・問い合わせ先：船橋市民ギャラリー

電話番号：047-420-2111 / fax 番号：047-420-2112

Web：<https://www.f-bunspo.or.jp/gallery/>

主催：船橋市教育委員会 / 公益財団法人船橋市文化・スポーツ公社

協力：NTT コミュニケーション科学基礎研究所

